

町民にインタビュー

書写ボランティア

書道ボランティアは学校書写の授業をサポートする、総勢27名で行われている活動です。今回、新たに加入した3名の方にインタビューしました。



たしる えりか 田代 恵里香さん



たつなみ やすこ 立浪 康子さん



ながた えり 永田 英理さん

— ボランティア参加のきっかけは

田代 子どもが習字を習うことをきっかけに、自分も習い始め、習字の先生の紹介でボランティアを始めることになりました。

永田 子どもが好きなので、子どもたちと関わることができるボランティアをやってみたいと思いました。

— 書写ボランティアへの抱負は

立浪 コロナ禍で大変ですが、子どもたちと楽しく過ごし、書道を通していつばい褒めてあげたいです。

永田 限られた時間の中で、子どもたちの様子を把握し、その子に合った対応や言葉掛けができるように取り組みたいです。

— 清水町に期待することは

田代 コロナ禍で活動やイベントの自粛等を余儀なくされていますが、幅広い世代が安心して過ごせる住みやすい町づくりに取り組んでほしいと思います。

永田 御影地域の子どもの数が減らないように、子育てしやすい環境が必要で、清水町は子育てや医療の支援制度は充実しているの、さらに元気で安全に遊べる場所が必要だと感じています。

書写ボランティア
代表 山名眞亮さん

書写ボランティアは故安藤國廣氏が学校の書道の授業を見て、教師ひとりでは教えるのは限界があると感じ、お手伝いできないかと立ち上がりました。子どもに対し細かく指導しつつ、楽しんでやっています。

表紙の写真

5月15日、高円宮賜杯第41回全日本学童軟式野球十勝支部予選大会が清水町営球場で行われ、清水野球少年団ライオンズの選手が勝利を目指し戦っているところです。少子化のためか、選手不足で音更町のチームとの合同で出場です。翌日からは新型コロナ対策により緊急事態宣言が発動され延期されましたが、一日も早く子どもたちが元気に白球を追う日が来るのが望まれます。



表紙写真担当：広報広聴常任委員会 加来良明

9月定例会

開会

9月7日

令和3年9月定例会は、9月7日に開会を予定しています。

清水町議会ホームページでは生中継や録画中継がご覧になれます。9月定例会からインターネットを利用した動画配信サイトYoutube（ユーチューブ）による配信方法へ変更となります。

詳細は、9月上旬に発行する新聞チラシ折込をご覧ください。

■発行 清水町議会 ■編集 広報広聴常任委員会

〒089-0192 北海道上川郡清水町南4条2丁目2番地 ☎ (0156) 62-3317 FAX (0156) 62-5160

清水町議会ホームページ <http://www.town.shimizu.hokkaido.jp/gikai/> メールアドレス gikai@town.shimizu.hokkaido.jp